

[第1期の評価]

基本目標1 魅力的なしごとを創造する

～丹波ブランドを活かした産業の創造・継承と、活躍人口を生み出す創造的なしごとをつくる～

数値目標	項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
「年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っていると思う」市民の割合	数値目標	-	-	18.5%	19.0%	19.5%	20.0%
	成果数値	-	18.1%	14.7%	17.1%	21.2%	-
	達成度	-	-	○	○	◎	-
チャレンジカフェを通じた新規起業件数	数値目標	-	20件/年	20件/年	20件/年	20件/年	20件/年
	成果数値	18件	13件/年	14件/年	28件/年	15件/年	-
	達成度	-	△	△	◎	△	-

・「年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っていると思う」市民の割合は、目標値を上回っている。
 ・チャレンジカフェを通じた新規起業数は概ね目標に達している。

基本目標2 交流人口を増やす

～「人」との出会いから地域の魅力を伝え、交流を促進し、移住・定住につなげる～

数値目標	項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
相談窓口を利用して移住した転入者数	数値目標	-	36人/年	36人/年	36人/年	36人/年	36人/年
	成果数値	11人/年	24人/年	23人/年	29人/年	52人/年	-
	達成度	-	△	△	○	◎	-
観光入込客数	数値目標	2,300千人/年	2,167千人/年	2,200千人/年	2,233千人/年	2,266千人/年	3,000千人/年
	成果数値	1998千人/年	2,109千人/年	2,079千人/年	2,184千人/年	2,260千人/年	-
	達成度	-	○	○	○	○	-

・移住希望者からの住まい・仕事・子育て支援等の相談について、相談件数及び移住世帯数の増加につながった。
 ・観光入込客数は、年々増加傾向にあり、概ね目標値に達している。

基本目標3 市民みんなで子育てを応援する

～安心して子どもを産み、育てられるまち「丹波市」をつくる～

数値目標	項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
出生数	数値目標	-	520人/年	520人/年	520人/年	520人/年	520人/年
	成果数値	495人/年	457人/年	469人/年	441人/年	438人/年	-
	達成度	-	○	○	○	○	-
「地域全体で子育てを支えている」と感じている市民の割合	数値目標	-	56.0%	62.0%	68.0%	74.0%	80.0%
	成果数値	47.4%	44.4%	45.9%	50.5%	46.7%	-
	達成度	-	○	△	△	△	-

・出生数は、減少が続いている、下げ止まっていない。
 ・「地域全体で子育てを支えている」と感じている市民の割合は、概ね45～50%の範囲で変動が大きい。

基本目標4 元気な地域をつくる

～活力ある地域コミュニティを育て、市民がいきいきと暮らすまちをつくる～

数値目標	項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
「日々のしごとにやりがいや充実感がある」と感じている市民の割合	数値目標	-	-	62.0%	63.0%	64.0%	65.0%
	成果数値	-	60.6%	63.8%	62.0%	58.9%	-
	達成度	-	-	◎	○	○	-
「自治会・小学校区は、地域活動が活発化している」と感じている市民の割合	数値目標	-	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%
	成果数値	36.7%	40.1%	46.3%	45.9%	41.5%	-
	達成度	-	◎	○	○	△	-

・日々の仕事にやりがいや充実感がある市民の割合については概ね目標値に達している。
 ・地域活動が活発化していると思う市民が微減している。

[第2期の基本目標とその着目点]

基本目標1 希望が叶い、みんなで子育てを応援するまちをつくる

- 結婚・出産・子育ての希望が叶うまちをつくる
 (取組メニュー例) ※以降の基本目標も同じ
 ・スポーツや地域活動など多様な出会いの場づくり
 ・初めて妊娠した夫婦など、個別ニーズに合わせて支援する体制づくり
 ・0～2歳児段階の仕事と子育ての両立支援
- みんなで子育てを応援するまちをつくる
 ・コミュニティ・スクールの推進
 ・丹波市らしい豊かさ(自然体験・遊び、心地の良い場)が実感できる場(サードプレイス)づくり

基本目標2 魅力的なしごと・多様な働き方・働きやすい職場をつくる

- 魅力的なしごとをつくる
 ・通勤圏内企業への就職促進
 ・キャリアチャレンジ(第2就活)による就職回帰
 ・高校卒業後の地元企業就職など、しごとと人のマッチング強化
 ・Society5.0に向けた未来技術の社会実装支援
 ・コミュニティ経済の循環強化
 ・観光産業の育成支援
- 多様な働き方・働きやすい職場をつくる
 ・女性ならではの働き方・起業支援
 ・テレワークなど、ICTを活用した働き方改革の推進
 ・公共交通による通勤支援

基本目標3 地域の魅力や人のつながりを活かして、移住・定住につなげる

- 人と人のつながりをつくる
 ・20代～30代をターゲットにした移住・定住支援
 ・高校や大学とのつながりによる関わりを増やす取組
- 地域資源の魅力を活かす
 ・地域資源のさらなる磨き上げと情報発信の強化
 ・ふるさと住民登録による関わりを増やす取組
 ・官民連携を通じた丹波市の魅力ツアー
 ・体験による教育の場づくり

基本目標4 好循環で元気なまちをつくる

- 関係を結び、好循環を生み出す
 ・地域による活動を支援する中間支援組織の育成
 ・農福連携など、分野を越えて連携する取組の推進
 ・ふるさと寄附金や企業版ふるさと納税など新たな財源の確保
- 元気な地域が元気なまちをつくる
 ・自治機能の強化
 ・地域資源を活用した6次産業化やエリアマネジメントなど、地域発プロジェクトのスタートアップ支援
 ・地域活動の担い手へのマンパワー支援
 ・誰もが活躍できる地域共生社会の推進
 ・健康まちづくりの推進

[第2期の構成]

1 創生総合戦略とは

- 目的
- 位置付け
- 期間
- 2060年に目標とする人口
- 進捗管理

2 基本的視点と基本目標

- 2060年のまちの姿
- 基本的視点-活躍人口-
 ・20代～30代
 ・関係人口となりうる層
- 政策ターゲット
 ・多様な“外”と連携する
 自治体連携、官民連携、大学・高校連携 など
- 新たな視点
 ・Society5.0、SDGs、ICT、AI、シェアリングエコノミー など
- 人材を育て活かす
 女性活躍、中間支援組織、地域運営組織、ソーシャルビジネス など
- 基本目標

3 施策体系

4 目標ごとの取組

- 基本目標1
- 基本目標2
- 基本目標3
- 基本目標4